

【行事】

日本合気道普及連盟・2026 年度夏季交流会

- ・日時 2026/6/28(日) 12:30～16:00
- ・場所 みやき町中原武道館(佐賀県三養基郡みやき町養原 1003-1)
- ・指導 第 1 部 13:00～14:30 指導 木村館長(育翔館)
第 2 部 14:40～16:00 指導 野口館長(陽聖館)
- ・参加 58 名(北星館 9 名 濱田館長, 村里, 松尾, 酒井, 笠井, 吉岡, 徳永, 西坂, 吉田(敬称略))



※感想は来月の北星館便りに掲載します。

【行事予定】

北星館講習会

- ・日時 2026/8/23(日) 10:00～12:00
- ・場所 長与町ふれあいセンター(西彼杵郡長与町高田郷 2053-3 <tel:095-855-8128>)
- ・内容 演武会映像の鑑賞ほか

会員投稿 「合気道の精神」 N さんからの投稿です

「合気とは愛なり。天地の心を以って我が心とし、万有愛護の大精神を以って自己の使命を完遂することこそ武の道であらねばならぬ。合気とは自己に打ち克ち敵をして戦う心無からしむ、否、敵そのものを無くする絶対的自己完成の道なり。而して武技は天の理法を体に移し霊肉一体の至上境に至るの業であり、道程である。」

合気道の精神から始まり、何事かとお思いでしょう(笑)

皆さんは、この中で好きな文句(部分)はありますか。私は、「自己に打ち克ち敵をして戦う心無からしむ、否敵そのものを無くする」の文句が一番好きです。

先日、そのことをお思い浮かべる出来事がありましたので、皆さんに聞いていただければと思い、書いています。

私は、会社で社員の資格取得の手続きに関する業務を行っているのですが、今年の 1 月に当社がある会社を吸収合併し、その合併された側の社員とのやりとりです。

先日いつもどおり、手続きを済ませた後、

「個人負担分の手数料が〇〇〇円になります。給料引きでよろしいでしょうか。」

というメールを 30 代の社員に送りました。

するとその社員からメールで

社員「すみません、確認したいのですが、なんで自己負担なのですか？会社出しではないのですか？」
と質問が来ました。

メールだったので、相手が怒っているのか、そうでもないのか実際はわかりませんが、メールの感じからムツとしているよう気がしました。私もつられて『前の会社ではそうだったかもしれませんが、うちの会社では個人負担なのです』と言い返したくなりました。

その時、阿蘇の研修を受けたばかりの私はふと「合気道の精神」を思い出し、言い返したい気持ちをぐっところえ次のように返しました。

私 「前の会社では、会社負担だったのですね。当社の基準では会社を辞めた後にも個人に残る資格は個人負担となっています。ご理解いただけましたでしょうか。」

社員「資格を取るにあたっての自己負担は聞いていましたが、この資格が自己負担とは事前に聞いていませんでした。あと、会社辞めた時ですよ？今会社に勤めているのに自己負担なのですか？あと、これから資格取った場合も全部自己負担になるのですか？質問ばかりですみません。」

私 「いえいえ、質問していただいて大丈夫です。事前に説明が無かったことをお詫びいたします。おっしゃるとおり…（省略）ご納得いただけますでしょうか。」

社員「わかりました。丁寧に説明していただきありがとうございました。」

私 「いいえ、また何かありましたらご遠慮なく。」

というようなやり取りでした。

まさに「自己に打ち克ち敵をして戦う心無からしむ、否敵そのものを無くする」！ではないでしょうか？もし初めから質問を突っぱねてしまっていたら、この社員は二度と質問をしてこず、不満ばかりをため込んでしまう結果になっていた気がします。

私が初めて実生活で合気道の精神を感じた瞬間でした。皆さんにもこのような瞬間があるのでは？もしあればぜひお話を聞かせていただきたいです。

まだまだ未熟な私ですが、これからも合気道の精神を頭の片隅におきながら、少しずつその精神に近づければと思う毎日です。

編集後記

4月の春季交流会から、2か月経過したところで夏季交流会が開催されました。

今回は佐賀での開催のため、長崎から多くの人に参加しました。近いとすごく楽ですね。

一方、鹿児島から参加の人は高速で4時間かけてきたそうで、大変だったようです。

見知った顔の中にも新しい人たちも混じっていましたが、会員的大幅増加とはなかなかいかないようです。次回9月の交流会も楽しみです。